

新評論

2023

4

No.331

発行所 © 新評論 2023年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp
振替 00160-1-113487 価格税込



著者近影

学び直しは、生き直し!NHK「クロ現」などで紹介され話題、課題集中校の元名物校長が「真の学び」を熱く語る教育改革論

さらば学力神話

ぼうず校長のシン教育改革

磯村元信

◆ジャンル:教育

「小学校から不登校で、発達障害も疑われ、学力もなく将来が不安です。私自身も精神に不調を抱え、子どもと二人で話をしていると、生きていても仕方がないと思ってしまうくらいです」——教育相談に訪れたあるシングルマザーの涙声に心が刺さった。今の日本、どこにもある光景だろう。

自分は劣っている。自分を肯定できない。そんな人に言えない苦悩やコンプレックスを子どもに強いているもの、それが「学力」である。上級学校に進学することが幸せにつながる。大学を出ればいい仕事に就ける。経済力のある家庭では、塾や家庭教師にわが子の学力向上と将来を託す。一方、貧困家庭や一人親家庭の子ども、外国にルーツをもつ子どもとその保護者は、頼れる人もなく、学力至上主義に陥った学校教育の袋小路で立往生している。

中学生の九九%が高校へ進学する今日、日本全体が「学力神話」の金縛りにかかっている。学力の上位層と下位層が同じ学校教育の土俵に立っている。それがドロップアウトの元凶だ。未来を生きる子どもたちには、「学力」とは別次元の大切な「物差し」があることを伝えなければ

ならない。目の前の子どもをまるごと認め、一人ひとりのよさを生かして社会を生き抜くことを応援する教育、それを実践する学校がいま求められている。

教育に関する本は「上から目線」の教育批判、教員批判、家庭批判に陥りがちだ。ましてや元校長の書く本など、たいていは自慢話か、教育行政や教育関係者への恨み辛みの吐露に終わる。そういうものとは違う、こんな本を書いてみたかった。本書は、課題集中校で一四年間にわたって書き綴った「校長通信」を再構成したものである。学力神話からこぼれ落ちた高校の「さんねんな教育」の犠牲になりながら、それでもめげずに頑張る生徒、保護者、教職員を応援するのが目的だった。その記録をもとにした本書を、同じ境遇にあえぐ人々たちへのエールとして、またボトムアップの教育改革論として提供したい。(いそむら・もとのぶ)

ISBN978-4-7948-1236-0

4月中旬刊

四六並製 二八〇頁 二二〇〇円

さんねんな先生

「教育界初!『非常識な現場』を大告白」

一九八〇円

好評刊

さんねんな教育環境

「現職教師が語る『学力格差』の実態」

三三〇〇円

著者 1957年生まれ。都立秋留台高校で11年、都立八王子拓真高校で3年校長を務め、学び直しや不登校の高校を若手のボトムアップで改革し、退学者を半減させる。NHK「クロズアップ現代」「ETV特集」で改革の実践が紹介される。現在、ぼうず教育実践研究所代表。



著者近影、左がカリック
(© <https://www.aasa.org/>)

効率偏重の一斉授業を脱却し、学びを個別化するといっても、何から始めたらいいの?…そんな先生方におくる最良の指南書

学びの中心はやっぱり生徒だ!

個別化された学びと「思考の習慣」(仮題)

ベナ・カリック+アリソン・ズムダ

中井悠加・田中理紗・飯村寧史・吉田新一郎 訳

◆ジャンル:教育

同じ年齢の子どもたちが、教室という一つの場集まり、全員が決められたことを同じように学ぶ。そんな工場のような効率偏重の仕組みが、実は学校教育にはそぐわないということに、私たち教員はずっと気づいていたのではないのでしょうか? 変化と不確実性の時代の中で、日本の教育も少しずつ変わりはじめ、徐々に「個別化された学び」に類する取り組みや実践が各地で広がり始めているようです。

ところが、実際に「個別化された学び」の時間を提供しようとしても、少なからぬ生徒が「何にどう取り組んだらいいかわからない」と戸惑ったり、やる気が感じられなかったり、表面的な調べ学習で満足してしまったり、ということも起きているのではないのでしょうか? そして、教師の側も、そもそもそのための時間や仲間をつくる難しさを抱えていたり、実施するための方法がわからずに躊躇したりしている方も多かもしれません。

実際のところ、「個別化」しただけで子どもたちが学びに向き合えるようになるかというと、必ずしもそうではありません。というのは、「個別化された学び」を

本当の意味で実現していくためには、その基盤として、カリキュラムの探求だけでなく、教師と生徒の関係性、環境、フィードバック、そして本書の大事なテーマでもある「思考の習慣」を育んでいくことがとても重要だからです。この「思考の習慣」は、「身につけなさい!」と声をかけるだけでは身につくものではなく、まずは教師自身がモデルを示しつつ、小さなステップを積み重ねながら、教室の中で少しずつ育んでいくものです。

本書は「個別化された学び」を本当の意味で実現させるための「思考の習慣」をどのように育んでいくか、その第一歩を踏み出す、そんなきっかけとなる一冊です。(田中理紗 私立かえつ有明中等学校サイエンス科・プロジェクト科主任)

ISBN978-4-7918-1238-4

4月下旬刊

四六並製 予三二〇頁 二六四〇円

好評刊

「居場所」のある学級・学校づくり

(生徒が「安心」できる教育環境) 二九七〇円

L・バロン+P・キートン/山崎めぐみ・吉田新一郎訳

一斉授業をハックする 二七五〇円

(学校と社会をつなぐ「学習センター」を教室につくる)

S・サックシュタイン+K・ターウィリガー/古賀洋一・竜田徹・吉田新一郎訳

著者 Bena KALLICK 「思考の習慣研究所」共同創設者・共同ディレクター。専門分野はグループ・ダイナミクス、創造的思考、多様な評価方法など。Allison ZMUDA カリキュラム、評価、学習指導を専門とする教育コンサルタント。個に応じた学びを広める運動に情熱を注いでいる。



本書イラストより

50年にわたる在住経験で体感した北欧ジェンダー先進社会の
理念と実践。自らの意識を変革しつつ子と向き合う育児の真髄

やってよかった育児パパ

日本人のパパがスウェーデンでたどり着いた男女平等教育

谷沢英夫

◆ジャンル:ジェンダー教育/北欧の教育

「育児に携わり、日々、子どもが成長する様子を見届ける生活は、このうえなく楽しいものでした。それを可能にしてくれたのがスウェーデンの社会なのです」
そんな社会に五〇年間暮らし続けた著者は、自らの子育てを振り返って、スウェーデンという国の「男女平等原則が大きく影響した」としている。著者が日本の父親に対して育児をすすめるのは、それが「幸せなこと」であるからだ。彼の妻はスウェーデン人でプレスクールの園長。それゆえ、一般の保護者よりも育児というものが身近にあったのだろう。日々の営みのなかで家族の「幸福」に焦点を当てているところが本書の特徴となっている。

一九六〇年代より欧州社会は「男女共同参画」を発展的な課題として受け入れ、多様な人々が暮らしやすい環境を模索してきた。そのような社会的うねりのなかで、父親たちは真っ直ぐな眼差しでその変化を見つめてきた。他者のケアに携わっている人は「無意識にもっている偏見」を常に問い返される。そのよき例として「プレスクールのビデオ観察」についても触れている。この観察は、子どもと向き合うトレーニングを積んだ人たちでさえ、

男女役割分担という思考の枠組みから解放されていないことを示していた。だからこそ、私たち一人ひとりもそのことを意識しようと著者は言っている。

「男・女らしさとは何だろうか?」「子どもたちとどのように接するの?」――後半では、子どもと過ごした日々から得られたヒントが示されている。読み進めれば、読者自身の日常がそこに重なっていくだろう。示された言葉は、家族と向き合った時間から紡がれた「本当に大切なもの」ばかりだ。だからこそ、その思いが私たちを優しく包んでくれる。

結びとして掲載された「スウェーデンの子どもたちへの調査結果」において子どもたちは、大人に対して語りかけている。「スウェーデン社会の選択は成功であった。私たちの声こそが、希望ある未来を切り開いた社会である!」

(株)会社アネビー 藤井 薫

ISBN 978-4-7918-1237-7 4月下旬刊

四六並製 一九二頁 一九八〇円

あなた自身の社会

「スウェーデンの中学教科書」 二四二〇円
A・リンドクウィスト・J・ウェステル / 川上邦夫訳

好評刊
幼児から民主主義

「スウェーデンの保育実践に学ぶ」 二二〇〇円
E・アルネル・S・ソール・レマン / 伊集守直 光橋 敬訳

著者 1943年生まれ。1974年より、屋外遊具メーカー HAGS社の市場開発や「子どもの遊びコンサルタント」に尽力。2011年早稲田大学人間文化研究科博士前期課程修了後、同大学招聘研究員。著書「スウェーデンの少子化対策」、訳書BRIS+M・ホルム編「子どもの悲しみとトラウマ」。

クライメット・ジャーニー

蒲敏哉

〔気候変動問題を巡る旅〕 数々のグローバルな「現場」へ読者を誘い、気候・環境問題を等身大の視線で見つめる旅。
四六並製 一二三四頁 一九八〇円



スウェーデン・スカ・ヘムの女性たち

太田美幸

〔スウェーデン「専業主婦の時代」の始まりと終わり〕 生活・政治・ジェンダー平等を結びつけた女性たちの挑戦。
四六並製 一二三四頁 二四二〇円



「ちょっと世間話」

水谷昌史

お好み書き見ええない人の視覚障害者、世間を斬る! 「真のリアフリー」を求めて物言う視覚障害者の、タブーを恐れぬ傑作エッセイ集。
四六並製 二四〇頁 一九八〇円



東アジアの高齢者ケア

西下彰俊

〔韓国・台湾のチャレンジ〕 日本を含む東アジアの介護システムを比較、その課題を掘り下げる意欲作!
A5上製 二六〇頁 二七五〇円



学びは、すべてSEL

N・フレイター・D・フィッシャー・D・スミス / 山田洋平・吉田新一郎訳

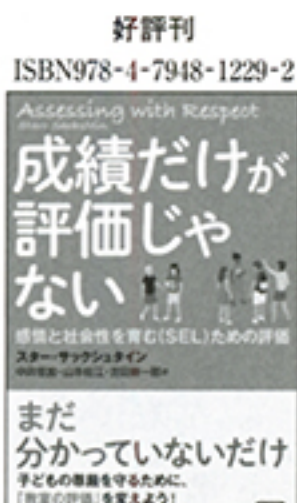
〔教科指導のなかで育む感情と社会性〕 教師の気づきで教室を変える最新手法。社会情動的スキルの育て方。
四六並製 三三八頁 二七五〇円



成績だけが評価じゃない

S・サックシュタイン / 中井悠加・山本佐江・吉田新一郎訳

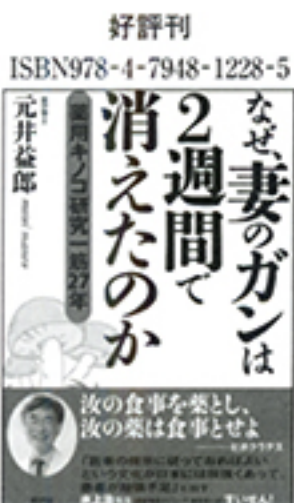
〔感情と社会性を育む(SEL)のための評価〕 子どもの尊厳を守る米・国発・最新の総合的評価法を紹介。
四六並製 一二五六頁 二六四〇円



なぜ、妻のガンは2週間で消えたのか

元井益郎

〔薬用キノコ研究一筋27年〕 体験を交え「神のキノコ」による自然療法の効用を事例と共に徹底解説!
四六並製 二五六頁 一九八〇円



おやつギャグつめあわせ

カナイガ

カプセルトイ・フィギュア界注目目録のフィギュア・クリエイター初の作品集! 日々の癒しに、年末年始の贈り物に!
B6変型並製 一二八頁 一三三〇円



ちせんげんじ 知泉源氏 1

杉村喜光

〔完訳漫画「源氏物語」〕 博覧強記の雑学王が原作の世界を忠実に再現！初の「サクサク読めて味わい尽くせる源氏」。

A5並製 三〇四頁 一四八五円

好評刊
ISBN978-4-7948-1223-0



ちせんげんじ 知泉源氏 2

杉村喜光

〔完訳漫画「源氏物語」〕 鳥取の有名門校青翔開智中学校・高等学校校長・織田澤博樹氏すいせん！

A5並製 三〇六頁 一四八五円

好評刊
ISBN978-4-7948-1225-4



ちせんげんじ 知泉源氏 3

杉村喜光

〔完訳漫画「源氏物語」〕 年齢性別を問わず、誰にでも面白く読める初めての完全漫画訳、波乱の第3弾！

A5並製 三四四頁 一四八五円

最新刊
ISBN978-4-7948-1230-8



ぼくはぼく

S・ヴェルデ(文)／P・レイノルズ(絵)／島津やよい訳

「ありのままの自分」を全面肯定し、愛するために。他人との比較や自己否定に病む現代人の心を温かく励ます「個性讃歌」。

A4変上製 三三二頁 一三二〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-1234-6



田んぼの中の 「コーヒー」豆屋

響田紗世

〔東川町で起きた八年間の奇跡〕 人口増加数道内1位の町で現在形で日々起きている奇跡の物語とは。

四六並製 三二二頁 一九八〇円

〔北海道新聞〕紹介
ISBN978-4-7948-1227-8



攻める自治体「東川町」

中村稔彦

〔地域活性化の実践モデル〕 人口減に見舞われ、過疎指定を受けながらもユニークな施策で発展を続ける唯一無二の北の町。

四六並製 一五五頁 一九八〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1206-3



気仙沼 震災復興から「未来」に向かう

関満博

〔海と生きる〕三陸の水産都市 被災後12年、遅く前進する全国有数の漁業・水産基地の現在。

A5上製 六六六頁＋口絵八頁 九三五〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1221-6



長寿ファミリー企業の アントレプレナーシップと地域社会

辻田素子編者

〔時代を超える京都ブランド〕ファミリー経営の強みを発揮し、時代に即した試みで長らえる京都の老舗。

A5上製 三三二頁 三〇八〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-1232-2



M・グルエンバウム／林 幸子
T・ハサククロウイ／酒井佑子 訳

『太陽はきつとどこかで輝いている』

——ホロコーストの記憶——

■感想文 菊池佳那(岩手県立一関第一高等学校2年)

『岩手日報』2022年12月15日

『菊池雄星文化プロジェクト／第55回岩手読書感想文コンクール』で本書を読んでくれた高校2年生・菊池佳那さんの感想文が、『高校生の部・優秀賞』を受賞。その素晴らしい感想文を、ご本人・学校・コンクール事務局のご承諾を得て再録します(第2回目。1回目は本誌3月号に掲載)。

風化とは

【前号より続く】

現在、戦争を知る人は高齢化し、どんどん減少しつつある。これからの社会を担う私達一〇代が実際に話を聞くことができる最後の機会は今より近い。正直、向き合いたくないような残酷な事実が、過去が、知ろうと思えば数え切れないほどそこら中に転がっている。過去の終わったことについて知る必要は無いのではないかと、目を背けたくなる気持ちもよく分かる。

しかし、「終わったこと」ではない。今現在、世界中のありとあらゆる場所で差別や偏見、争いがはびこっている。辛く苦しいことではあるが、どうか残酷さや悲惨さに向き合ってほしい。私も向き合いたい。そのような事件や戦争を実際に経験した人と、私達のように何も知らない人の間には目に見えない大きな隔たりがある。きつと彼らの過ごした年月や経験した恐怖、不安、そして深い悲しみを知ることができないのだろうか。しかし、お互いの間に何らかの架け橋を見付けることが必要だ。もちろん

それはそう簡単な事ではないだろう。だが、例えば本書のように戦争を追体験できるような本を読む、実際に話を聞いてみる、調べることなどして、とにかく知ろうとすることが大切なのだと思える。最初に話したウクライナとロシアの戦争。私は人々が既に慣れてきてしまっているのではないかと、思う。最初のような関心は薄れ、募金なども急激に減っているのではないだろうか。状況は少しも改善されていないにも関わらず、だ。しかし、慣れてはいけないのだ。幼い頃の筆者は全ての理不尽なことに対して疑問を持っていた。私達も理不尽なことを当たり前に受け入れてはならない。興味、関心だけでなく、自分の強い意志を持ち続け、理不尽に抗える人間でありたい。私達一人一人の興味、関心が過去の過ちを風化させず、私達一人一人の強い意志が未来を変える、という意識を持ち続けてい

きたい。私の一つの行動が未来を変えるのかもしれないのだから。争いのない、平和な未来を願って。どうか私達の未来に幸あれ。

太陽はきつとどこかで輝いている

M・グルエンバウム＋T・ハサククロウイ／林 幸子・酒井佑子 訳

四六並製 四一六頁 二七五〇円

『週刊読書人』書評
ISBN978-4-7948-1183-7



改訂新装版

テレビジンの子どもたちから

林 幸子 編著

△5並製 二五六頁・カラー口絵八頁 二六四〇円

好評刊関連書

ISBN978-4-7948-1184-4



本を売る

それを、はじめてみました

敵か味方か、黒か白か——。世の中、「わかりやすさ」が溢れている。しかし、社会はそんなにわかりやすくはない。100人いれば、100通りの社会があり、その100色の混ざり合いが社会なのだろう。そして、本はさまざまな色が混ざり合った世界を感じることができる媒体だ、と思う。

1冊の本に出合うことで、新たな興味・関心が湧き出し、次の本、また次の本へと手が伸びる。密林(selva)の奥深くへ歩を進めるように。そんな出会いを生み出したと、新聞記者を辞めて、2022年12月1日に鹿児島市名山町に本屋「books selva」を開いた。面積は5坪で、靴を脱いで上がってもらうタイプの店だ。

書店員経験がないので、選書は独断と偏見。世の中にはおもしろそうな本がこんなにもあるのか、とハイな状態で注文するが、いざ本が届くと、さて売れるのかしらん？ と心配になる。が、それも

一瞬で消える。本に開かれた空間で仕事ができる喜びが勝る。

本稿執筆時は開店から約2カ月。偶然店に入ってくれた高校生や若い人が本を購入してくれたり、「この本に出合うために店に入っただけだ」と喜ばれたりすると、頬が緩む。一方、5分もしないうちに出ていかれることも多い。そんな時は「選書が良くないのか」「棚が魅力的ではなかったのか」と答えのない問いが頭を駆け巡る。どう工夫すればいいのかわからないながらも、面陳している本を入れ替えるなど試行錯誤を繰り返している。

多くの人に気に入られることばかり意識すれば店のアイデンティティーが失われてしまう。しかし、あまりにも我を出しすぎると本屋ではなくなってしまう。そのバランスは一生わからないのかもしれないが、記者の仕事と同じように正解のないことが本を売る魅力だと実感している。日々勉強しながら、本の語りに耳を傾けてもらえるような空間をつくっていききたい。

books selva 杉谷健太

本誌表示価格はすべて税込です。

書評日誌(2022・12・1~12・28)

●書評 ●紹介 ●関連記事

- 12・1 ⑧週刊新潮『動物の足跡を追って』(角幡唯介)
 12・15 ⑧岩手日報(菊池雄星文化プロジェクト 第55回岩手読書感想文コンクール・高等学校の部・優秀賞)『太陽はきっとどこかで輝いている』▶p.6
 12・24 ⑧東京・中日新聞『動物の足

跡を追って』角幡唯介(2022 私の3冊)

- 12・28 ⑧BSテレビ東京「神々の庭へ 石狩川源流紀行」『ブラボー！大雪山』(著者出演)

- 12 月 ⑧糸島市立図書館児童書おすすめ本・冬号『きみは星のかげら』

中日・東京新聞紹介
 ISBN978-4-7948-1220-9



動物の足跡を追って
 バティスト・モリゾ／丸山 亮訳
 動物たちの「地政学」や「共存の論理」が人類に呼びかけるもの。世界の見方を一変させる5つの「追跡」の物語。
 四六並製 一五六頁 二六四〇円

好評刊
 ISBN978-4-7948-1209-4



きみは星のかげら
 E・ケルシー文／S・キム絵／光橋 翠訳
 詩的な文章とアーティストイックな絵で「地上のあらゆる生命の関連」をイメージ豊かに美しく描くエロジ絵本。
 B5変型上製 四八頁 一七六〇円

本を読む

青空と文字のあいだで

アナキズムについて考え、関連文献を漁っているうちに、文化人類学にたどり着き、レヴィ・ストロースを読み、最近ではデヴィッド・グレーバーに惹かれる。そんな中、新刊案内でこの本を知り、読み始めたが、この著者の他の著作もあたってみたいと思わせる一書である。

(泉南市 前川 優 72歳)

知泉源氏1

会話がわかりやすく面白い。歴史を興味深く知ることが出来、今後が楽しみ。また、紫式部さんに親しみがわいた。まさか、清少納言さんをライバル視していたとは。 (相模原市 会社員 木村 健 53歳)

知泉源氏2

物語を楽しむ上で必須の時代背

景の説明、歌の訳がタイムリーにちりばめられており、一気に流れるように読むことが出来る。古典であることを忘れさせてくれる。

(上尾市 日置章一 71歳)

きみは星のかげら

“科学” “詩” “絵画” が結びつき融合している絵本。子どもばかりか大人にとっても夢と憧れの未来を描いてくれる。自然と命についての教育こそ、いま求められている基本的課程かと思っています。

(横手市 梁田信吉 83歳)

好評刊

青空と文字のあいだで

白石嘉浩

二四二〇円

生のための授業

(自信に満ちた子どもを育てる)

デ・マーク最高の教師たち
M・ベルンセン/清水 満訳/企画協力:オゾンホ

一九八〇円

「NHKから国民を守る党」

とは何だったのか?

選挙ウオッチャーちだい

一六五〇円

編集部から

学校が嫌い、やる気出ない、授業についていけない——多分に貧困や家庭環境のせいで学校生活に支障を来した高校生が多く通う「課題集」が、新刊「さらば学力神話」は、そうした高校で14年にわたり校長を務めた教育者がおくるシン・教育改革論。「学力」だけで子どもを測ってきた日本社会全体で当選したものの一度も国会に出席せず除名処分となった議員の処遇が徒となり、NHK党は党首が辞任、またぞろ炎上狙いの党名変更でお茶を濁そうとしています。支持者離れはいよいよ深刻です。おそろく4月の統一地方選が同党の崩壊を決定づけ、好評刊「NHKから国民を守る党」とは何だったのか? 「選挙ウオッチャーちだい」の「予言」が現実化する日も近いでしょう。未読の方はぜひXデーに向けて予習を!

営業部から

- ▼直近3ヶ月(2022年11月、2023年1月)弊社のアマゾン売上ベスト15をご紹介します。
- ①感情と社会性を育む学び(SEL)
 - ②たった一つを変えるだけ
 - ③スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む
 - ④あなた自身の社会
 - ⑤ぼくは にんげん
 - ⑥プロジェクト学習とは
 - ⑦虚構の「近代」
 - ⑧ギヴァー 記憶を注ぐ者
 - ⑨100年前から見た
 - ⑩幼児から民主主義
 - ⑪「NHKから国民を守る党」とは何だったのか?
 - ⑫開発との遭遇
 - ⑬地球に降り立つ
 - ⑭さんねんな先生
 - ⑮生のための授業

SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料! 各種特典あり! お申し込みを!

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。ご希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。